

福岡県政刷新のための政策提案

～すばらしい福岡・九州の未来のために～

1. 激変する内外の情勢認識と今後の進むべき方向

日本は今、危機的状況にある。少子高齢化、人口減少の大波とともに地域経済は低迷し、国際情勢の激動の前に立ちすくんだ状況である。今後、内外の厳しい環境変化の中で、世界のイノベーションに大きく立ち遅れてしまった日本が生き残るには、各地域が自立的にイノベーションを主導し、内外の環境変化に適切に対応していかなければならない。

九州経済をリードする福岡県は、明るい日本の未来の礎を築くため、自立的な成長戦略路線に立ち、次のような新政策パッケージを実行に移すべきである。

2. 新政策パッケージ

(1) オープン・イノベーションの推進

ベンチャーと大企業等をつなぎ、規制改革の成果を活用しながら、官民連携のオープンプラットフォーム構築により革新的ビジネスを支援する。

(2) 過疎地域の移動手段を確保する交通政策

従来の公共交通機関だけでは日常生活に支障をきたしている地域において、ライドシェアなどの新しい技術を取り入れ、国家戦略特区などを活用して、関係者の参画のもと、住民目線による交通体系の見直しを行う。

(3) 新時代に対応した教育施策

新しい時代に対応したプログラミング教育等の教育環境整備を行い、人生100年時代にふさわしいリカレント（学び直し）教育を推進する。

(4) 各地域における活性化取り組み支援

ソーシャルビジネスなど地域の強みを生かしたコミュニティの自発的取り組みを行政が徹底的にサポートする体制を作る。

(5) テクノロジーを活用した新産業分野の積極的振興

自動運転、ロボット、AI などへの研究開発を促進するとともに、民間のノウハウを使いながら自治体として真っ先に、デジタルガバメントに向けた行政のデジタル化に取り組む。

(6) 女性・若者の県政参加推進

クオータ制や電子投票を含む女性・若者の県政参加推進策について徹底的な議論を行い、試行・導入を図る。

3. 県政刷新

この8年間の小川県政においては、このような将来を見据えた新たな政策はついに見られなかった。トップが発揮するべきリーダーシップと構想力の欠如と言わざるを得ない。

このような停滞した県政を打破し、大きな変化に対応した新たな社会像の創造に向け、福岡県が果敢に挑戦し、明るく強い福岡県と九州の未来を創るために、いま、県政を刷新することが急務である。

.....

この「福岡県政刷新のための政策提案」について、武内和久氏から、その趣旨に賛同し、自分の政策に反映していくとの回答があり、これを了として相互に協力することとした。

平成31年2月14日

谷 口 博 文